

ちむ美らさ

第87号
発行: 北部農林水産振興センター
農業改良普及課
住所: 沖縄県名護市大南1-13-11
電話: 0980-52-2752
FAX: 0980-51-1013



目次

- 1P 沖縄県花と食のファスティバル2018
- 2P 田植直後の雑草管理について
- 3P エコファーマーについて
- 4P 低コスト・省力化をはかる新しいカンキョウ防鳥ネットの設置方法

おきなわ花と食のフェスティバル2018

平成30年1月27日～28日に奥武山公園にて「おきなわ花と食のフェスティバル」が開催され、各園芸品目の品評会で北部地区から多くの生産者の皆様が受賞されました。

また、花き産地活動表彰では、おきなわブランド化貢献部門で、JAおきなわ東支店花卉生産部会が表彰されました。受賞されました皆様、おめでとうございます。

第33回 花き品評会受賞者				
賞名	受賞者	品目名	市町村	特別賞
金賞	友寄 翔平	大ぎく	伊江村	農林水産大臣賞
	徳村 政紀	アレカヤシ	名護市	農林水産省生産局長
	仲村 智昌	観葉鉢物	恩納村	沖縄県農林水産部長賞
	大城 薫	トルコギキョウ	今帰仁村	日本花き生産協会会長賞
	玉城 勇	タニワタリ	伊江村	一般社団法人日本花き卸売市場協会会長賞
	友寄 明彦	大ぎく	伊江村	九州山口花き園芸連絡協議会長賞
	伊野波 盛憲	観葉鉢物	本部町	沖縄県農業共済組合組合長理事賞
	友寄 和美	大ぎく	伊江村	
	野原 朝秀	スプレーギク	名護市	
	宇江城 安勝	オクラレリカ	恩納村	
銀賞	座間味 聡	ドラセナ	今帰仁村	
	鳥袋 幸造	観葉鉢物	恩納村	
	比嘉 悟	大ぎく	大宜味村	
	玉城 清康	大ぎく	名護市	
	知念 徳康	大ぎく	伊江村	
	當路 伯英	大ぎく	本部町	
	並里 幸宏	大ぎく	伊江村	
	棚原 貴光	大ぎく	伊江村	
	宜野座 健治	スプレーギク	名護市	
	金城 哲也	スプレーギク	名護市	
	鳥袋 勇	スプレーギク	伊江村	
	宇江城 安勝	ヘリコニア	恩納村	
	崎山 喜紀	フトイ	大宜味村	
	平良 功	ドラセナ	名護市	
	幸地 洋子	ドラセナ	恩納村	
	棚原 晴喜	ドラセナ	恩納村	
	伊芸 達雄	ドラセナ	金武町	
	内間 初枝	モンステラ	伊江村	
	仲間 悦子	アレカヤシ	金武町	
	安和 美奈子	アレカヤシ	東村	
仲村 智昌	観葉鉢物	恩納村		
棚原 信彦	大ぎく	伊江村		
儀保 ミツコ	大ぎく	伊江村		
嘉敷 宣治	大ぎく	本部町		
大湾 勇	大ぎく	大宜味村		
大湾 みえ	大ぎく	大宜味村		
金城 成美	大ぎく	伊江村		
宮城 忠司	大ぎく	伊江村		
大城 玄	小ぎく	伊江村		
樋口 健太	スプレーギク	名護市		
鳥袋 良正	スプレーギク	伊江村		
宜野座 健治	ナデシコ	名護市		
大城 靖	チューペローズ	国頭村		
当山 與幸	ヘリコニア	恩納村		
安富 慧	ラン	宜野座村		
与那覇 幸英	タニワタリ	伊江村		
城間 盛順	ドラセナ	名護市		
仲間 政弘	ドラセナ	金武町		
古我知 直人	ドラセナ	名護市		
与那覇 幸英	モンステラ	伊江村		
比嘉 聡子	アレカヤシ	東村		
石原 義雄	観葉鉢物	東村		
大城 保寿	観葉鉢物	恩納村		
登川 良雄	観葉鉢物	恩納村		
當山 康徳	観葉鉢物	恩納村		

第28回 野菜品評会受賞者				
賞名	受賞者	品目名	市町村	特別賞
金賞	儀間 幸太	ラッキョウ	伊江村	沖縄県町村会長賞
銀賞	佐久川 和雄	きゅうり	名護市	
	友寄 隆也	さやいんげん	本部町	
	嘉敷 昇	大型平ざや	金武町	
	大城 淳吉	ラッキョウ	伊江村	
	我如古 盛昌	きゅうり	名護市	
	(株)和伊耕産	かぼちゃ	伊是名村	
	豊里 友作	スイカ	今帰仁村	
	仲間 和男	田いも	金武町	
比嘉 政子	大型平ざや	金武町		
第16回 果樹品評会受賞者				
賞名	受賞者	品目名	市町村	特別賞
最優秀賞	宮城 調義	タンカン	国頭村	農林水産省生産局長
	金城 千桂代	フルーフジークワサー	大宜味村	沖縄県知事賞
優秀賞	照屋 和江・勝利	アテモヤ	恩納村	内閣府沖縄総合事務局賞
	與座 正也	タンカン	名護市	沖縄県農林水産部長賞
優良賞	宮城 俊次	タンカン	東村	沖縄協同青果株式会社賞
	上地 政行	フルーフジークワサー	国頭村	沖縄県農業協同組合代表理事賞
	東恩納 ツナ	タンカン	国頭村	沖縄県果樹フェスティバル実行委員会会長賞
	久高 信子	タンカン	東村	沖縄県果樹フェスティバル実行委員会会長賞
	與座 正也	タンカン	名護市	沖縄県果樹フェスティバル実行委員会会長賞
	金城 章	タンカン	大宜味村	沖縄県果樹フェスティバル実行委員会会長賞
照屋 正和	フルーフジークワサー	大宜味村	沖縄県果樹フェスティバル実行委員会会長賞	
宮平 みよ	アテモヤ	恩納村	沖縄県果樹フェスティバル実行委員会会長賞	

部門	市町村	受賞者	代表者
第10回 花き産地活動表彰 おきなわブランド化貢献部門	東村	JAおきなわ 東支店花卉生産部会	部長 外間 正人



(担当: 桃原)

バックナンバーはこちら→ <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norin-hoku-nokai/timutyurasa.html>
または右上QRコードでご覧になれます。

田植直後の雑草管理について

今年も一期作目の田植えの時期になりました。この時期は、田んぼの水管理や農薬散布等で忙しくなりますが、多収・高品質のお米作りを目指して基本的な作業について再確認しましょう。また今回は、田植後の雑草管理のポイントについて紹介します。

栽培暦（水稲一期作）

沖縄県水稲栽培指針（改訂版）より抜粋

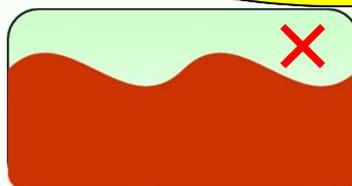
生育 ステージ	育苗期間		有効分けつ期		幼穂形成期		登熟期		
一期作	2/15	3/10	3/25	4/25	5/1	5/25	6/18	6/25	
	-23日	0日	10~20日	45日	50~60日	70~80日	98~100日	105日	
管理 作業	播種 代かき 基肥 散布	田植	追肥 (一期)	間断 かん水	中干し	穂肥 (一期)	病虫害 防除	出穂期 病虫害 防除	落水 収穫期

雑草管理のポイント

1. 除草剤の効果を保つため、**散布後7日間**はかけ流しや落水は絶対にやめましょう
→有効成分が土壌に定着する前に落水してしまうと、有効成分が流れ出てしまい除草効果が十分に発揮されない可能性があります。
2. 活着が遅れている場合や極端な高温・低温時は、**薬害防止**のため除草剤の使用を控えましょう。
3. 代かきは丁寧にいき、**田面が凸凹**しないようにしてください。
→田面が凸凹していると、有効成分が均等に田んぼ全体へ広がりません。また、雑草の局部発生の要因となります。



このような凸凹した部分がないようにしましょう！！雑草発生の要因となります。



凸凹が多い部分は厳禁！！

(担当:儀間)

エコファーマーとは

「土づくり・減化学肥料・減化学合成農薬」の3つの技術を一体的に行うことにより、環境にやさしい農業に取り組む農業者の愛称です。



減化学合成農薬

品種の選定や生物農薬の使用など様々な方法で病害虫や雑草を防ぎ、**化学合成農薬に依存しない防除技術**です。

導入計画が認定されると

減化学肥料技術

使用する肥料の種類や使い方を変える事で肥料成分を**効率的に作物に与え、使用量を削減**します。



土づくり技術

堆肥や緑肥を用いて土壌の性質を改善し**地力の増強や肥料の流亡を防ぎ**ます。



全国共通のエコファーマーマークが使えます。
導入計画に基づいて生産された農産物の包装容器・箱、ポスター、名刺等に表示することができます。

■■ 申請できる農家の基準等 ■■

- ① 経営耕地面積が**30a以上**又は(年間)農産物総販売金額が**50万円以上**の農家。
 - ② 取り組む作物のうち、栽培面積の半分以上で導入を計画すること。
 - 導入計画とは、5年後を目標に「土づくり」、「減化学肥料」、「減化学農薬」を一体的に取り組む計画のことをいいます。
 - 導入計画の有効期限は5年間です。有効期限を更新する場合は、**5年間の実績報告**や**次に5年間に向けた新たな導入計画の認定**を受ける必要があります。
 - 化学肥料、化学合成農薬の低減割合は、慣行レベルに比べ**化学肥料由来窒素成分量**および**化学合成農薬使用回数**の**概ね3割減**です。
- ※品目によっては、慣行基準が無い場合申請できないケースもあります。

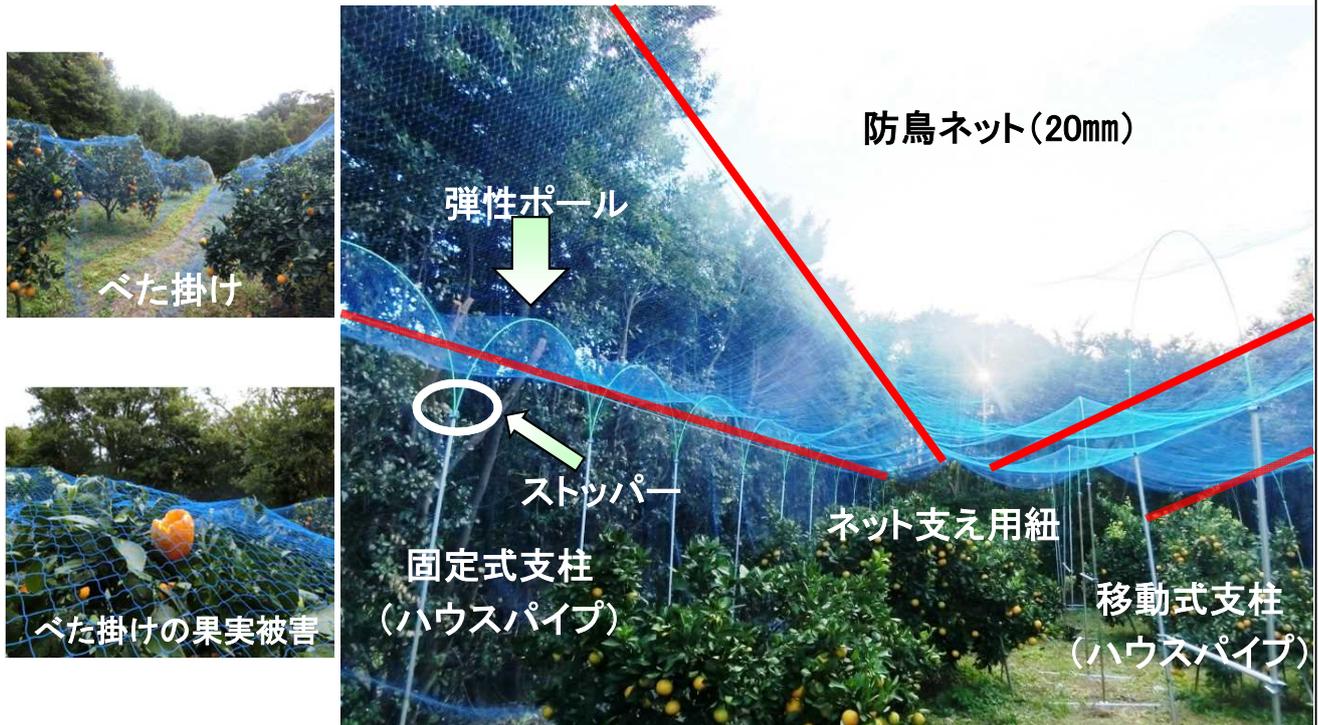
申請窓口は畑のある市町村になりますので市町村の担当課もしくは農業改良普及課までお問い合わせください。またエコファーマーの説明や申請様式については沖縄県農林水産部営農支援課のホームページも参考にしてください。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/eino/kankyo/ecofarmer.html>

(担当: 桃原)

低コスト・省力化をはかる新しいカンキツ防鳥ネットの設置方法

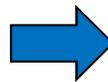
本県のカンキツ栽培においてはカラスおよびヒヨドリ被害防止対策が欠かせません。本県における防鳥ネットの設置方法としては、平張り、網掛け、ベタ掛けがあり、最も低コストな方法として普及しているのがベタ掛けです。しかし、ベタ掛けは設置時にネットが樹体に引っ掛かる、ネットと直接接している果実が鳥害を受ける等の問題があります。そこで樹体・果実がネットに触れず、出来るだけ簡易に低コストで設置出来る防鳥ネットの設置方法について検討しました。



◎本技術の特徴

今回実証した新しい防鳥ネットの設置方法

①ほ場周囲に1.5m間隔で支柱を設置します(固定)。脚立等を利用しないで打ち込めるようハウスパイプの絞り部分を利用し連結出来るようにしました。支柱の埋め込み深度は30cmとしました。



②管理作業の邪魔にならないようにほ場内部の支柱は固定せず移動式としました。

③ネット支え用紐(上の写真では赤色の線)を縦に通し、ネットの被覆、取り外し時に弾性ポールの谷間、ストッパーに防鳥ネットが引っ掛からないようにしました。

④導入初年度のみ240千円/10aの資材費がかかります。2年目以降は資材を継続利用出来るため、ほとんど費用がかかりません。廃材利用等によるさらなる費用低減も可能です。

⑤導入初年度のみ固定式支柱の打ち込み作業が必要です。2年目以降の主な作業はネットの被覆、取り外し作業となります。ネットの被覆、取り外しにかかる労働費は2名で短時間で実施出来ることからベタ掛けに比べて65%削減出来ます。

担当(平松・井上)